本社ガスビルサービスセンター、支社所在地および電話番号

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大阪06(586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	☎高槻0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神戸078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都075(231)6151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	☎奈良0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1・5	☎和歌山0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-9	☎姫路0792(65)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒堀690-1	☎草津0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	☎彦根0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	☎長浜0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪06(202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

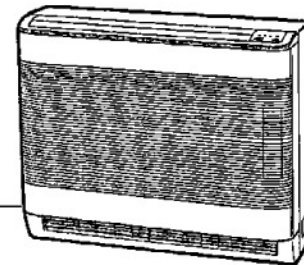
お願い　ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

90.11(00)(M)
N824969-A

〈FFタイプ〉

ガスルームエアコン

室内ユニット44-343型　室外ユニット04-343型

型式名　GHC-4031(T)
GHC-4031

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

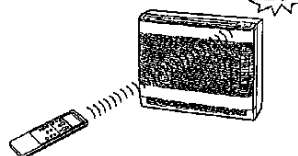
このたびは、大阪ガスのガスルームエアコンを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。
別添の保証書とともに、この『取扱説明書』を
大切に保管してください。

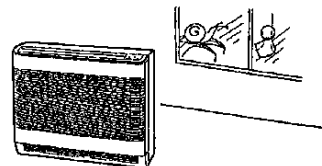
もくじ

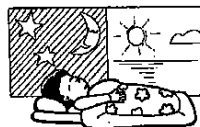
特長

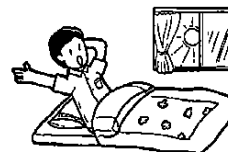
●冬はガスでパワフル暖房
●夏は電気でさわやか冷房
●雨の季節は電気でさわやか除湿

■リモコン運転

リモコンで、離れたところからでも簡単に運転モードが切換えできます。

■ドライ運転

梅雨どきなどに、室温をほとんど変えることなく、さわやかに除湿します。

■デジタルタイマー運転

ご希望の時刻にセットしておけば、タイマーが自動的に運転をON・OFFします。

■ナイスオン予約

マイコンが朝の室温をチェック、おめざめ時にお部屋の温度が設定室温になっているようタイマーセット時刻より早めに運転を開始します。

■インバータ冷房

室温の変化に応じて冷房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な冷房を行います。

■ガス比例制御（暖房時）

室温の変化に応じて、暖房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な暖房を行います。

■冷房上下左右自動首ふり

冷房時は上部吹出口から上下左右にスイングする冷風を送風。下部吹出口からの送風と合わせ、自然な涼風感をあたえます。
また、暖房時、設定室温になると上部吹出口からも送風を開始、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房感を与えます。

■自動運転

運転の種類を「自動」にすることにより、スイッチON時の室温に応じて「暖房」「ドライ」「冷房」運転を自動的に選択して運転します。
また風速も自動的に選択します。

必ずお守りください

ガスもれ、やけど、火災、故障などを防ぐために、この項は必ずお読みください。

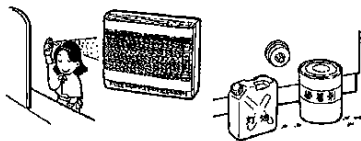
お取り付けされるとき

●ガスの種類を確かめる

●室内ユニット右側面にはってある銘板の表示以外のガスは使用しないでください。

●転居されたときにも、ガスの種類の一致を必ず確かめてください。
部品の交換や調整が必要となる場合があります。
この場合に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

●引火物をそばにおかない

室内ユニットやバランストップのそばに危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの)を絶対においたり、近づけたりしないようにしてください。また2m以内でヘアースプレーなどの引火物を使用しないでください。
●火災や部品の劣化の原因になります。

●使用電源を確かめる

この器具はAC100V用です。
お宅の電源が一致しているかお確かめください。

●電源は20A(アンペア)以上のコンセントに

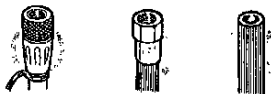
この器具は約15A(アンペア)の電気容量を必要としますので、それ以上の容量のあるコンセントに接続してください。
コンセントの容量については、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご相談ください。

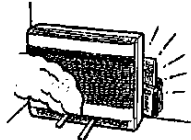
●ガスの接続を確かめる

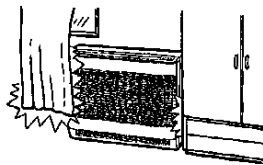
ガス接続は、大阪ガス指定のタイマー器具専用ガスコードを使用し、ガス用ゴム管は絶対に使用しないでください。
タイマー器具専用ガスコードは、ときどき点検してください。
(タイマー器具専用ガスコードは機種・ガス種により使用できない場合があります。)

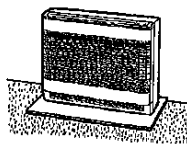
ガスコード(小口径迅速継手付)

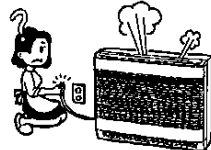
強化ガスホース

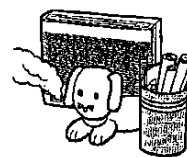
ガス用ゴム管

●背面にものを入れない

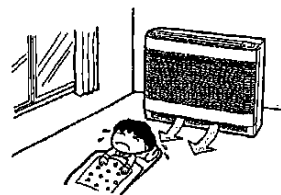
温風吹出口や室内ユニットの背面にものを入れないでください。
煙がでたり、火災の原因になります。

●カーテンなどをかけない

暖房時、室内ユニットの上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を置いたり近づけたりしないようにしてください。
カーテンが変色したり、火災の原因になります。

●水平な床の上に置く

機器の重量に耐えられ、水平に設置できる床を選んでください。
畳などの場合には、丈夫な台を使用します。
毛足の長いじゅうたんの上にそのまま設置すると、室温センサーの動作不良の原因となるため、丈夫な台を使用します。

●電源プラグの抜き差し消火をしない

電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。
室内ユニットが過熱し故障の原因となります。

●温風吹出口をふさがない

温風吹出口の前にものを置いたり、ふさいだりしないでください。
異常過熱して室内ユニットの故障の原因となります。

●温風を直接からだにあてない

温風を長時間、直接からだにあてないようにしてください。「脱水状態」になったり、「低温やけど」の原因になります。特に体力のない病気のかた、乳幼児・お子様・お年寄りには回りのかたがじゅうぶん注意してください。

●室内ユニットの上にのらない

室内ユニットの上にこしかけたり、乗ったりしないでください。
「やけど」や室内ユニットの変形の原因になります。

各部のなまえと扱いかた

室内ユニット

本体表示部・本体操作部

リモコン操作部

選択ボタン
「切タイマー運転」「入タイマー運転」「切↔入タイマー運転」の選択をします。(17ページ参照)

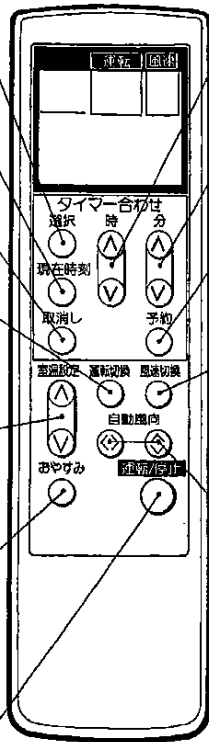
現在時刻ボタン
現在時刻のセットおよび変更や確認のとき押します。(11ページ参照)

取消しボタン
タイマー運転を取消すとき押します。
(17ページ参照)

運転切換ボタン
運転の種類を選ぶときに押します。
自動→暖房→ドライ→冷房→送風→自動

室温設定ボタン
設定室温を変えるときに押します。
16～32℃の範囲で、1℃きざみで設定できます。
押し続けると早送りになります。

おやすみボタン
おやすみ運転をセットするとき押します。
1回押す－1時間後、
2回押す－2時間後、
3回押す－3時間後、
4回押す－7時間後、
運転を停止します。
(18ページ参照)

運転/停止ボタン
押すと運転を開始し、もう一度押すと運転を停止します。

時ボタン
現在時刻、タイマー運転時刻の「時」を合わせます。
(11ページ参照)

分ボタン
現在時刻、タイマー運転時刻の「分」を合わせます。
(11ページ参照)

予約ボタン
「切」、「入」、「切」↔「入」等のタイマー運転をするとき、時刻セットした後に押します。押すとタイマー運転をはじめます。
(17ページ参照)

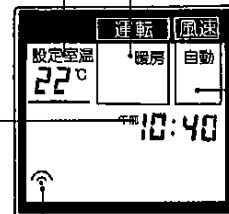
風速切換ボタン
風の強さを選ぶとき使います。ボタンを押すと
自動→強→弱→微
このように変わります。
「暖房」運転の初期「急速暖房」運転中は風速は切換わりません。(12ページ参照)「ドライ」運転時は、自動的に微風になります。(14ページ参照)

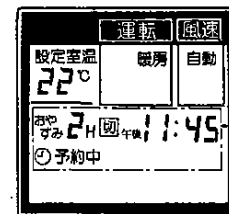
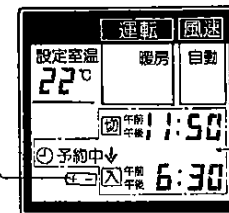
自動風向ボタン
上部吹出口の風の出かたを調節するときに使います。
◎ボタンは「冷房」「ドライ」「送風」運転時に押すと風向きが上下にスイングします。もう一度押すとその位置で止まります。
暖房運転時に押すと上部からの送風を停止したり、開始したりします。
(22ページ参照)
◎ボタンは左右の風向きを調節するとき使います。左右にスイングさせたり好みの角度に変えられます。
(22ページ参照)

リモコン表示部

設定室温表示
設定した室温を表示します。
「自動」「送風」運転時は表示しません。

現在時刻表示
現在時刻ボタンを2回押すと、約10秒間現在時刻を表示します。

送信マーク
リモコン操作部のボタンを押すと点滅します。
- 時・分・選択・現在時刻のボタンを押したときは点滅しません。

運転モード表示
「自動」「暖房」「ドライ」「冷房」「送風」のいずれかセットされた運転モードを表示します。

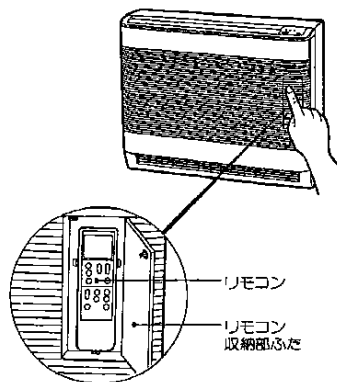
設定風速表示
「自動」「強」「弱」「微」のいずれかセットされた風速を表示します。
- 「自動」運転時は「自動」のみ「ドライ」運転時は「微」のみで切換えられません。
- 「送風」運転時は「自動」には切換えられません。

おやすみタイマーセット時刻表示
おやすみボタンを押しておやすみタイマーをセットすると、運転を停止する時刻を表示します。
(この表示例は、2時間後の午後11時45分に運転停止)

電池交換マーク
このマークが点滅したら電池の交換時期です。
新しい乾電池と交換してください。(10ページ参照)

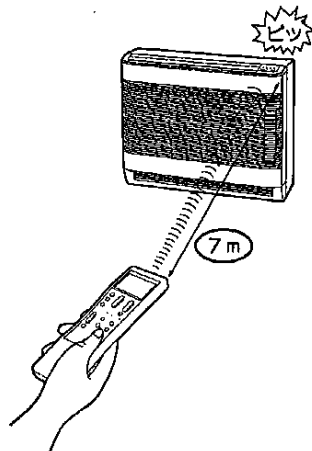
「入」・「切」タイマーセット時刻表示
選択ボタンを押して「入」、「切」、「入→切」等のタイマー運転のセット時刻を表示します。
[この表示例は午後11時50分に停止させ、翌朝6時30分にお部屋の温度がほぼ設定室温になっている例]

初めてお使いいただくときに

リモコンの準備

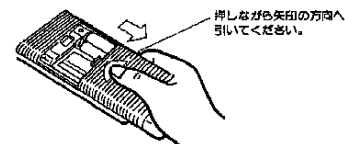
リモコンの取り外し・収納のしかた

●空気吸い込みグリル部にリモコンが収納してあります。
●収納部ふたの 押す の部分を押すと開きますから、リモコンを前方に引き抜いてください。
●収納するときはリモコン全体を収納部へ押して取り付けます。
●リモコンを収納したままでも運転できます。

リモコンの取扱いについて

リモコンを、本体正面で受信部とほぼ同じ高さから、信号が本体受信部へ正しく送信できるよう、送信部を受信部へ向けて操作します。
ただし、"ピッ"という本体からの受信音がない場合は、運転が開始されませんので再度操作してください。(受信距離は7mまでです。)

電池セット(交換)のしかた

単4形アルカリ電池(1.5V)を2個使います。

1 リモコン裏面のフタを矢印の方向へあけます。

2 新しい電池を入れます。
⊕(プラス)・⊖(マイナス)はケースの表示どおりに入れてください。

ご注意

●電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。誤動作することがあります。
●電池の漏液による故障をさけるため、長い間お使いにならないときは電池を全部取り出してください。
●通常のご使用で電池の寿命は約1年です。
●リモコン表示部の左下に電池マークが出ましたら電池を交換してください。
電池を交換した後は時計を合わせてください。(11ページ参照)
●お買い求めいただき、初めて使用する場合は、同梱されております電池を上記の要領でセットして使用してください。

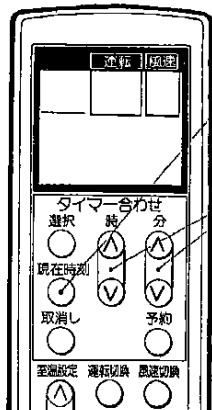
ご注意

●本体とリモコンの間にカーテン、ふすまなど信号をさえぎるものがあると作動しません。
●リモコンにジュースや水等の液体がかからないように注意してください。
●リモコンを直射日光の当たる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
●本体(受信部)に直射日光が当たる場合、エアコンが正しく動作しないことがあります。カーテンなどでさえぎってください。
●電子式点灯方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受けつけない場合があります。
あらたに蛍光灯を買われる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
●運転中に運転切換ボタンを押すと、運転を停止します。再度運転／停止ボタンを押してください。
●リモコンで他の電気機器が動作する場合は、電気機器を離すか、お買い求めの販売店にご相談ください。

時計の合わせかた

運転する前に次の手順で現在時刻を合わせます。

最初に時間を合わせるとき

電池を入れた後の時計表示は 午前午後 18:88 が点滅します。

1 現在時刻ボタンを押す

時計表示は 午前 0:00 が点滅します。

2 「時」、「分」を合わせる

時ボタン、分ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。
（表示は点滅しています。）
Ⓐを押すと時刻が進み、Ⓥを押すと時刻が戻ります。

午前 10:30 （午前10時30分の例）

ご注意　●午前と午後をまちがえないように合わせてください。

3 現在時刻ボタンをもう一度押す

時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。

午前 10:30　10秒後に消灯します。

現在時刻を確認したいときは、現在時刻ボタンを２回押します。
10秒間現在の時刻を表示したのち、消灯します。

時計を合わせ直すとき

［午後９時40分を午後10時40分に合わせ直す例］

1 現在時刻ボタンを押す

時計表示は 午後 9:40 が点滅します。

2 「時」、「分」を合わせる

時ボタン、分ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。
（表示は点滅しています。）

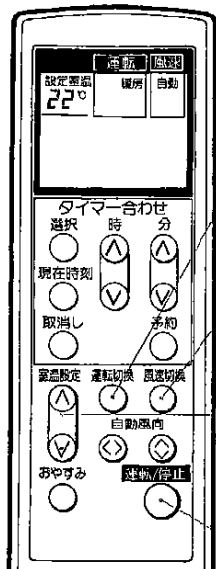
午後 10:40

3 現在時刻ボタンをもう一度押す

時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。

午後 10:40　10秒後に消灯します。

ご使用方法

暖房運転

電源プラグをコンセントに差し込む
お部屋のガス栓を開く

1 運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押して"暖房"にします。
設定室温が表示されます。

2 風速切換ボタンを押す

風速切換ボタンを押して、お好みの風速にします。
- ●自動：室温に応じて自動的に風速が変わり、風による肌寒さの少ない快適な運転をおこないます。
- ●強　：風速を上げて温風の循環をよくします。（風による肌寒さを感じることがあります。）
- ●弱　：マイルドな温風感を与える風を送り、静かな運転をおこないます。
- ●微　：よりマイルドな温風感を与える風を送り、より静かな運転をおこないます。

3 室温設定ボタンを押す

室温設定ボタンを押して、お好みの温度にします。
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●暖房運転のおすすめ設定室温は20～24℃の範囲です。

設定室温 22℃　例えば22℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ22℃にし、運転します。

4 運転/停止ボタンを押す

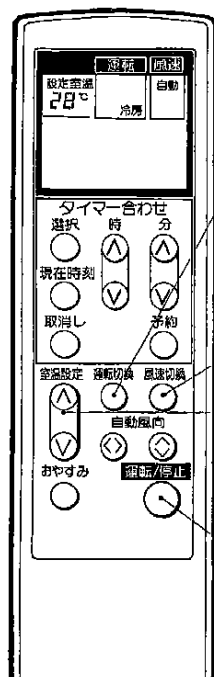
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、暖房運転をおこないます。
- ●室温が15℃以下のときは、自動的に"急速暖房"運転になります。
  室温が設定室温になると上部吹出口からも送風を開始し、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房を行います。
  自動風向◎ボタンを押すと上部からの送風を停止し、上部吹出口が閉じます。

5 停　止

運転／停止ボタンをもう一度押します。

ご注意
- ●設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- ●急速暖房時は風速切換えはできません。
- ●"微風"で長時間運転されるとお部屋がよく暖まらないことがあります。
- ●設定室温が現在室温より低いと運転しません。（ただし、運転ランプは点灯します。）
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは運転／停止ボタンを押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

冷房運転

冷房運転は外気の温度が22℃～42℃の範囲でお使いください。

電源プラグをコンセントに差し込む。

1 運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押して"冷房"にします。
設定室温が表示されます。

2 風速切換ボタンを押す

風速切換ボタンを押して、お好みの風速にします。
- "自動"：運転開始時は"強風"で、セットした温度になると"微風"に自動的に変わります。
- "強風"：冷えが速く経済的な運転をおこないます。
- "弱風"：静かな運転をおこないます。
- "微風"：より静かな運転をおこないます。

(風向調節のしかたは22ページを参照してください。)

3 室温設定ボタンを押す

室温設定ボタンを押して、お好みの温度にします。
- 16～32℃の間で設定できます。
- 冷房運転のおすすめ設定室温は25～28℃の範囲です。

設定室温 28℃　例えば28℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ28℃にし、運転します。

4 運転/停止ボタンを押します

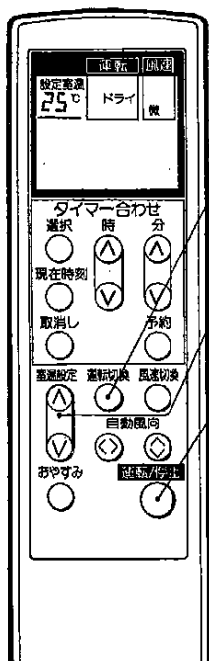
- 本体表示部の「運転」ランプが点灯し、冷房運転をおこないます。

5 停 止

運転/停止ボタンをもう一度押します。

ご注意
- 設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- 部屋の温度より設定室温が高い場合は冷房運転をしません。(本体表示部の運転ランプは点灯します。)設定室温を下げますと冷房運転を開始します。
- 部屋の湿度が高いとき(80%を超えるようなとき)は、室内ユニットの吹出し口などに露がつくことがあります。
- 一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

ドライ運転

部屋の湿気を取る運転です。
ドライ運転は室温が16℃以上でお使いください。15℃以下では運転しません。

電源プラグをコンセントに差し込む。

1 運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押して、"ドライ"にします。
設定室温が表示されます。

2 室温設定ボタンを押す

室温設定ボタンを押して、お好みの温度にします。

設定室温 25℃
- 16～32℃の間で設定できます。
- ドライ運転のおすすめ設定室温は20～28℃の範囲です。

3 運転/停止ボタンを押す

- 本体表示部の「運転」ランプが点灯し、ドライ運転をおこないます。

4 停 止

運転／停止ボタンをもう一度押します。

ドライ運転のしくみ

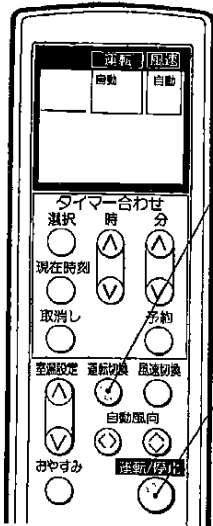
運転開始時の室温をマイコンがチェックし、つぎのような2とおりのドライ運転をおこないます。
- 室温が設定室温より高いときは、設定温度まで室温を下げながらのドライ運転をおこないます。
- 室温が設定室温より低いときは、設定温度に関係なく自動的に室温より少し低い温度が設定温度となり、ドライ運転をおこないます。

室温が設定温度より低いときは自動的に室温より少し低い温度が設定温度となりマイコンに記憶されますので、室温設定ボタンを押しても設定温度は変わりません。

お部屋の温度が設定室温より低くなりますと、自動的に送風を停止します。これは除湿効率を高めるためです。

ご注意
- ドライ運転時、風速は自動的に"微風"にセットされます。したがって風速切換えはできません。
- 一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

自動運転

自動運転は、エアコンが運転開始時の室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか一つの状態を自動的に選んで運転します。なお、運転中に室温が変化しても、運転の種類は切換わりません。

電源プラグをコンセントに差し込む。

1 運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押して、"自動"にします。
●風速は「自動」を表示します。

2 運転/停止ボタンを押す

●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、室温に応じた運転をおこないます。

3 停　止

運転/停止ボタンをもう一度押します。

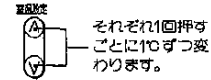
自動運転について

●エアコンが室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか1つの状態を自動的に選んで運転します。

運転開始時の部屋の温度	自動運転の内容		
	運転の種類	設定室温	風速
約27℃以上	冷房	27℃	室温に応じて"強風"→"弱風"→"微風"に変ります。
約22～27℃未満	ドライ	室温より少し低い温度になります。	"微風"で運転します。
約22℃未満	暖房	22℃	室温に応じて"強風"から"微風"まで比例してきめ細かく調節します。

設定温度の変更

●"あつすぎる"あるいは"さむすぎる"と感じたときは、設定室温を調節することができます。（暖房、冷房のみ）
●調整できる範囲は、高め3℃、低め3℃までで、室温設定ボタンを1回押すごとに1℃づつ変わります。

それぞれ1回押すごとに1℃ずつ変わります。

自動運転では、設定室温が表示されません。
設定室温を変更したときは、"ピッ"という室内ユニットの受信音で変更したことを確認してください。（暖房、冷房のみ）

設定室温を一度調節しますと、その設定室温がマイコンに記憶されますので、つぎからは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その設定室温で再び運転が開始されます。

運転モードがご希望に合わないとき

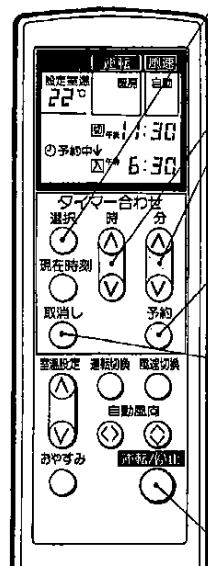
運転切換ボタンで「冷房」・「暖房」・「ドライ」・「送風」のいずれかを選んでください。

ご注意
●設定室温と部屋の温度は、使用環境によって多少異なることがあります。
●「自動」運転時は、風速の切換えはできません。

タイマー運転のしかた

タイマー予約は切タイマー、入タイマー、切⇄入タイマーの3種類がセットできます。

●一度セットした時刻は、リモコンが記憶していますので、同じ時刻を予約したいときは予約ボタンを押すだけでセットできます。

※11ページの時計の合わせかたで現在時刻を合わせてからタイマー設定をおこなってください。

1 選択ボタンを押す

選択ボタンを押して切マークか入マークを点滅させます。

2 「時」、「分」を合わせる

時ボタン、分ボタンを押して時刻をセットします。

午後11時30分に停止する例　　午前6時30分にお部屋の温度がほぼ設定室温になっている例

3 予約ボタンを押す

●入タイマー予約時は本体から"ピッ"という受信音がし、タイマーランプが点灯して入タイマー運転を開始します。
（運転中の場合は予約ボタンを押すと同時に運転を停止し、入タイマー運転に移行します。）

●切タイマー予約時は本体から"ピッ"という受信音がし、タイマーランプが点灯して切タイマー運転を開始します。
（運転が停止している場合は予約ボタンを押すと同時にタイマーランプ、運転ランプが点灯し、切タイマー運転に移行します。）

4 解 除

タイマー運転を取消し(停止)したい場合には、リモコンを本体に向けて取消しボタンを押します。
"ピッ"という受信音がして、"予約"が取り消され、本体表示部のランプが全て消灯します。

5 変 更

タイマー運転時間を変更したい場合には、選択ボタンを押して、2、3の順で再操作します。

6 運転／停止

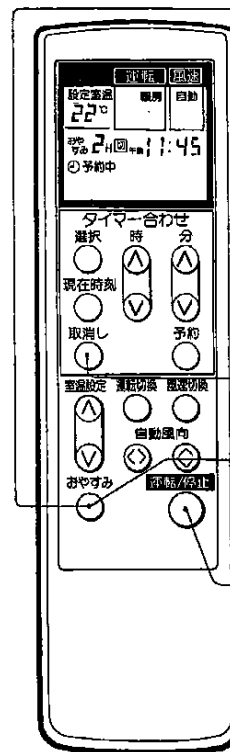
タイマー運転中に運転/停止ボタンを押すと、切タイマー運転中は運転が停止し、入タイマー運転中は運転が開始されます。
再度運転／停止ボタンを押すと、切タイマー運転の場合は運転が開始され、切タイマーセット時間に運転を停止します。
入タイマー運転の場合は運転が停止し、入タイマーセット時間に運転を開始します。

ご注意

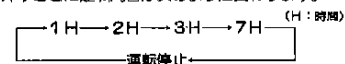
※入タイマー運転は、設定時刻にはお部屋がお望みの温度になるように、エアコンが自動的に設定時刻よりも早めに運転を開始します。

おやすみ運転のしかた

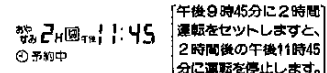
夜、おやすみになるときにお使いください。設定室温を変えてからだにやさしい運転をします。
セットは、1、2、3、7時間の4種類あり、セットした時間に自動的に運転を停止します。

※11ページの時計の合わせかたで現在時刻を合わせてからタイマー設定をおこなってください。

セット

おやすみボタンを押します。
このおやすみボタンを押すと、おやすみ運転が開始されます。
1回押すごとに運転内容が次のように変わります。

1H → 2H → 3H → 7H → 運転停止 →（1Hへ戻る）　(H：時間)

停止させたい時間をセットします。
リモコンに予約した内容が表示され、受信部からは"ピッ"という受信音がして、本体表示部のタイマーランプが点灯します。

おやすみ 2H 切 午後 11:45　予約中

［午後9時45分に2時間運転をセットしますと、2時間後の午後11時45分に運転を停止します。］

※風速を"微風"にセットしていただくと、静かな運転をします。

運転が停止している場合は、おやすみボタンを押すと同時に運転を開始し、おやすみ運転に移行します。

おやすみ運転を一度セットすると、マイコンが前回の運転内容を記憶していますので、次回からはおやすみボタンを一度押すだけで、前回のおやすみ時間で運転します。

解 除

おやすみ運転を取消したい場合には、取消しボタンを押すか、おやすみボタンを運転が取消されるまで押します。
セットが解除され、本体表示部のランプが全て消灯します。

運転／停止

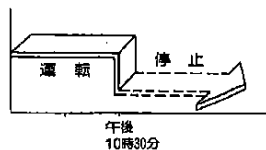
おやすみ運転中に運転／停止ボタンを押すと、おやすみ運転が停止します。
再度運転／停止ボタンを押すと、おやすみ運転が開始され、おやすみ運転セット時刻に運転を停止します。
ただし、おやすみ運転中に運転／停止ボタンを押しておやすみ運転を停止させたとき、停止時間がおやすみ運転セット時間より長い場合には、おやすみ運転は解除され、通常運転になります。

タイマー時刻セット〈例〉

切 タイマー（運転➡停止） セットした時刻に運転を停止させます。

（例）現在運転中のエアコンを午後10時30分に運転を停止したいとき

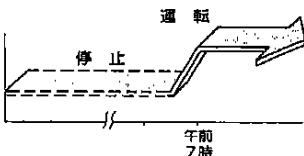
①選択ボタンを押して表示部に切マークを点滅表示させせます。　0:00

②時ボタン、分ボタンを押して午後10時30分にセットします。　10:30

③予約ボタンを押します。

入 タイマー（停止➡運転） セットした時刻には、設定室温になっているよう、前もって運転を開始します。

（例）明朝午前７時に起床したいとき

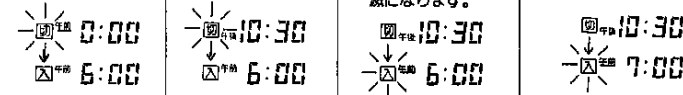
①選択ボタンを押して表示部に入マークを点滅表示させせます。　6:00

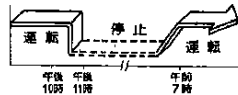
②時ボタンを押して午前７時にセットします。　7:00

③予約ボタンを押します。

組合わせタイマー （入タイマーと切タイマーを組み合わせてご使用できます）

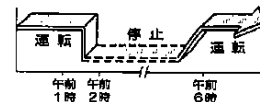
切 タイマー⬅➡入 タイマー

●セット時刻が早い方から先に作動します。
●作動する順序は表示部に矢印で示されます。

①選択ボタンを押して切マークを点滅・入時刻を点灯させます。	②時・分ボタンを押して、切時刻をセットします。	③もう一度選択ボタンを押すと切マークが点灯、入マークが点滅になります。	④時・分ボタンを押して、入時刻をセットします。
切 0:00 ↓ 入 6:00	切 10:30 ↓ 入 6:00	切 10:30 ↓ 入 6:00	切 10:30 ↓ 入 7:00

⑤予約ボタンを押します。

このようにセットすると、午後10時30分に運転を停止し、翌朝の７時には設定室温になるよう前もって運転を開始します。

組合わせタイマー （おやすみ運転と入タイマーを組合わせて運転できます。）

①入タイマーを予約します。
（予約のしかたは17ページ参照）

②おやすみボタンを押して、おやすみ運転をセットします。

おやすみ 2H 切 午前 1:38
④予約中↓
入 午前 6:00

左のようにセットすると、２時間後の午前１時38分に運転を停止し、翌朝の６時にはお好みの室温になるよう、前もって運転を開始します。

おやすみ運転のしくみ

運転内容と室温変化は下図のようになります。

運転内容	"おやすみ運転"の内容
冷房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに１℃（最高２℃まで）設定室温を上げます。（図：2℃／おやすみセット・30分・1時間）
暖房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに１℃（最高４℃まで）設定室温を下げます。（図：4℃／おやすみセット・1時間・2時間）

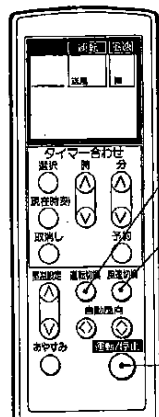
ご注意

●切タイマーまたは切⇄入タイマー予約中に、おやすみ運転をセットすると、切タイマーがおやすみ運転に切換わります。

送風運転のしかた

風だけを送る運転です。
お部屋の空気を循環させたいときに運転します。

電源プラグを差し込む

1 運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押して"送風"にします。

2 風速切換ボタンを押す

風速切換ボタンを押して、お好みの風速にします。

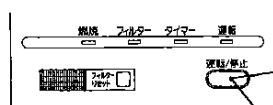
3 運転/停止ボタンを押す

本体表示部の「運転」ランプが点灯し、送風運転をおこないます。

4 停止

運転／停止ボタンをもう一度押します。

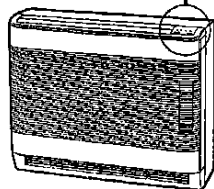
本体操作部での操作のしかた

リモコンを使わない運転のしかたです。

電源プラグを差し込む

1 運転／停止ボタンを押す

「運転」ランプが点灯し、自動運転をおこないます。
（自動運転については15ページ参照）

2 停止

運転／停止ボタンをもう一度押します。

ご注意 ●リモコンを操作して運転（暖房・ドライ・冷房・送風運転）をおこない、停止した後に本体操作部で操作した場合には、前回の運転モードで運転します。

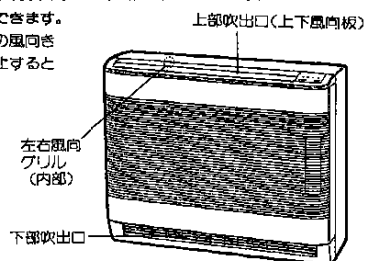
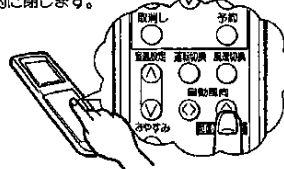
風向調節のしかた

上部吹出口

上部吹出口は、"冷房"・"ドライ"時は冷風が、"暖房"・"送風"時は室温に近い風が吹き出します。

上下の風向調節（冷房・送風・ドライ運転時）

自動風向◎ボタンを押すと上下風向板がスイングし、再度押すと上下風向板が止まります。
お好みの角度でスイングを止め、お好みの風向きにできます。
お好みの風向きにしますと、次回からは自動的にその風向きになります。上部吹出口（上下風向板）は、運転を停止すると自動的に閉じます。

上部吹出口（上下風向板）
左右風向グリル（内部）
下部吹出口

上下風向板を手で操作したときは、次回運転時その位置へは設定されませんので、必ずリモコンで操作してください。（誤って上下風向板を手で閉じた場合は、一度運転を停止し、再運転すると開きます。）

（暖房運転時）
室温が設定室温になると上部吹出口が全開し、室温に近い風を"微風"で吹き出し、下部の吹出口からの温風感をおさえた"マイルド"な暖房をおこないます。
このとき上下の風向調節はできません。また上下風向板のスイングもいたしません。
上部からの送風を停止したいときは、自動風向◎ボタンを押してください。

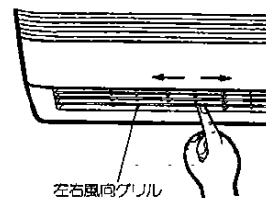
左右の風向調節

自動風向◎ボタンを押すと、左右風向グリルが左右にスイングします。
もう一度押すとスイングが止まりますので、お好みの風向きにできます。

下部吹出口

下部吹出口は、暖房時は温風が、冷房時は室温の風が吹き出します。

室内の状態や好みに合わせ、左右風向グリルを右または左に動かして調節してください。

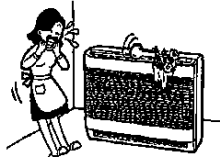
上下の風向調節はできません。

ご注意 暖房時は左右風向グリルの表面が熱くなっていますので、運転を止め、冷えてからおこなってください。

ご使用上の注意

●他の目的に使用しないでください

暖房・冷房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。

暖房時、衣類などを室内ユニットの上に置いたりしますと、上・下吹出口がふさがれてしまい室内ユニット内に熱がこもって異常過熱し、室内ユニットに悪い影響を与えることがあります。

●室内ユニットの上に花びん・コップなどを置かないでください

●電源プラグはしっかりと差し込んでください

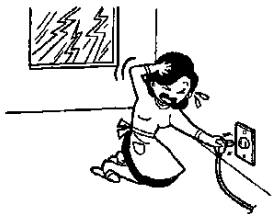
プラグにゆるみがありますと、漏電や過熱の原因になります。

●室温調節セット時のご注意

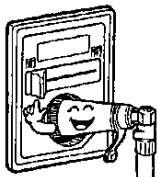
暖め過ぎ、冷し過ぎは健康上好ましくないばかりか電気、ガスのムダ使いになります。

一般的には暖房22℃、冷房27℃が快適といわれています。

●雷にご注意

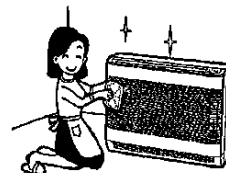
落雷のおそれのあるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

●停電時には

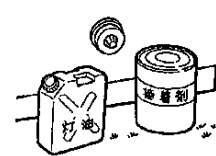
運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じてください。

暖房運転中に停電になったときは対流ファンが止まり、器具上部やエアーフィルター部が過熱しますので、手を触れないでください。

日常の点検、お手入れのしかた

長い間お使いいただくために、お使いになるみなさまの日ごろの点検・手入れが必要です。
次の点検・手入れはぜひ守って実行してください。

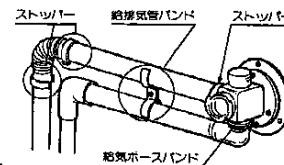
点検、手入れの際のご注意

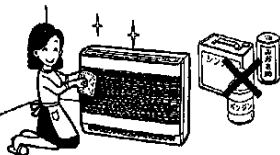
- ●暖房シーズン中の点検・手入れは、室内ユニットをじゅうぶんに冷やしてからおこなってください。
- ●点検・手入れについては、下記の日常の点検・手入れ以外はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。
- ●安全装置・ファン・燃焼器・電気部品・ガスの通路部分の分解はしないでください。
- ●部屋のガス元せんを閉じてください。

周囲の可燃物の点検

- ●器具の近くに紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いていないか点検してください。
- ●バランストップ先端がふさがれたり、周囲に可燃物・引火物を置いていないか点検してください。

温風吹出口から異臭がしませんか

- ●運転中に温風吹出口から異臭がしていないか点検してください。
  万一、異臭がしていましたら、ただちに使用をやめてお買い上げになった販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。

給気ホース、排気管の点検

- ●給気ホース・排気管が正しくしっかりつながっているか、また、延長配管では接続箇所がストッパーで固定されているか、点検してください。
- ●延長配管の場合は排気管にシミができていないか点検してください。
  運転中、排ガスが室内にもれますと非常に危険です。
  万一外れたり、破損していたらただちに使用をやめてお買い上げになった販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。

機器外装およびリモコンのお手入れ

吹き出しグリル、機器の外装などは、汚れがひどくならないうちにお手入れしてください。
お手入れは、やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼったものでふきます。
リモコンは、からぶきします。

ご注意
●ベンジン、シンナー、クレンザーなどは使わないでください。
塗装面やプラスチックをいためます。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

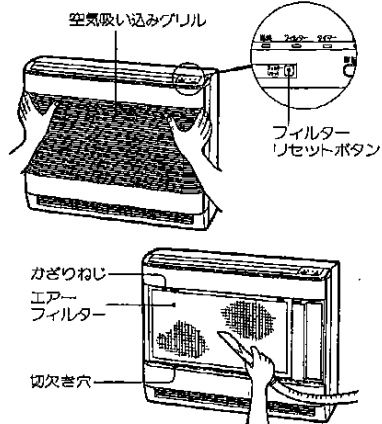
エアーフィルターのお手入れ

シーズン初め、および1週間に1回以上は、次の手順で清掃してください。

フィルターランプの点灯

暖房時、機器が過熱しそうなときや、冷房・送風・ドライ運転を約100時間行うと、フィルターランプが点灯します。フィルターランプはお掃除の必要最低限のめやすをお知らせするものです。
フィルターランプの点灯を待たずに掃除してください。
エアーフィルターにホコリがたまり、空気の通りが悪くなると、冷・暖房効果が悪くなるばかりか、そのままの状態でお使いになると異常過熱の原因となって、運転が自動的に停止することがあります。

〈お手入れの順序〉

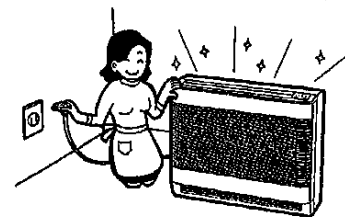
エアーフィルターは、空気吸い込みグリルの内側に、かざりねじで固定されています。
①空気吸い込みグリル上方の 押す 2カ所を軽く押して、空気吸い込みグリルを取り外します。
②エアーフィルターを点検し、ホコリだまりや汚れなどがあるときは、電気掃除機で落します。
汚れがひどい場合はエアーフィルターを外し、かためのブラシ等で掃除します。(固定している「かざりねじ」を十円硬貨等で回せば外れます。)
外した場合は、必ず元どおりに取付けます。
③空気吸い込みグリル下方の「ツメ」をフロントカバーの切欠き穴に差し込み、上方の両側を持って軽く押し込みます。
④本体操作部の「フィルターリセット」ボタンを押します。

ご注意
●エアーフィルターの水洗いはおやめください。錆びることがあります。
●エアーフィルターは必ず取付けてください。
エアーフィルター無しで運転すると故障することがあります。

長期間使用しない場合

シーズンオフには次のように取り扱ってください。

●暖房シーズンが終わったら次のような点検、手入れをおこなってください。

1 ガス元せんを閉め、室内ユニットをじゅうぶんに冷やしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 室内ユニット外装、エアーフィルター、上・下吹出口の掃除をしてください。

室内ユニット内部の清掃はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。(有料)

たたみ替え、じゅうたんのはり替えなどで室内ユニットをお客様自身で移動したり、設置したりしないでください。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。(有料)

●冷房シーズンが終わったら次のような点検、手入れをおこなってください。

1 エアーフィルターの掃除をし、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

2 室外ユニットにゴミやほこりが入らないように、なるべく別売の保護カバーをかけておいてください。
特にバランストップの近くに室外ユニットが設置してある場合は、暖房時の排ガスにより腐食することがありますので、保護カバーをかけるようにしてください。

故障かな?と思ったら

故障かな？と思われたらただちに使用を中止し、修理、サービスをお申し付けになる前に一度つぎのことをお調べください。

次のことを調べてください

こんなときは ＼ お調べいただくこと	運転／停止ボタンを押しても作動しない	点火しない	使用中に消火した	暖まりが悪い	冷えが悪い	変な音がする	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込まれているか	●						電源プラグを差し込む	23
リモコンの電池は切れていないか	●						電池を交換する	10
設定室温が現在室温よりも低くなっていないか	●	●	●				設定室温を上げる	7
設定室温が適正な温度になっているか	●	●		●	●		適正な設定温度にする	7
ガス元せんのあけ忘れ		●					ガス元せんを全開にする	12
ガス元せんの開きが不十分			●	●			ガス元せんを全開にする	12
ガスコード内に空気が残っている		●					点火操作を繰り返す	12
ガスコードの折れ曲がりや、つぶれがないか			●	●			折れ曲がりをなおす	
バランストップの先端がカバーなどでふさがれていないか		●	●			●	カバーなどを取り除く	24
空気吸い込みグリル・上部吹出口・下部吹出口がふさがれていないか				●	●		障害物を取り除く	4
エアーフィルターにほこりがつまっていないか				●	●		ほこりを清掃する	25
室外ユニットの周囲に障害物がないか(冷房、ドライ)					●		障害物を取り除く	
部屋の窓や戸が開いていないか				●	●		窓、戸を閉める	
風速切換の表示が「微」になっていないか				●	●		風速を適正にする	7

次のような現象は故障ではありません

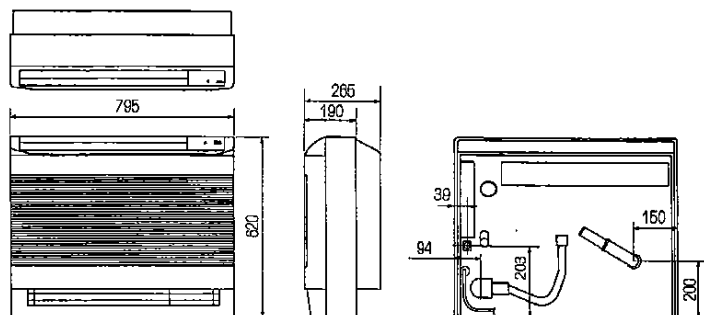
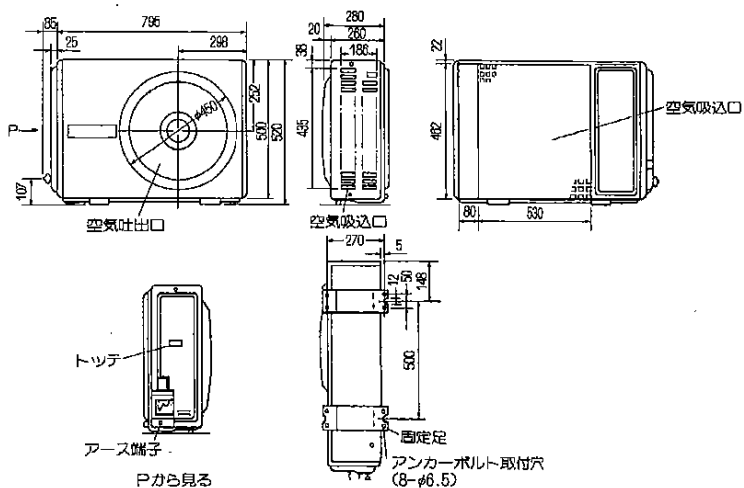
	現象	理由と処置
暖房時	シーズンはじめや長時間運転しなかったとき、なかなか燃焼ランプがつかない	ガス配管内に空気が入っているためです。空気が抜け、ガスが出て燃焼ランプがつくまで運転操作を繰り返してください。
暖房時	はじめて運転したときや、シーズンはじめには、煙やにおいが出る	内部の熱交換器などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
暖房時	運転中に「カチン」と音がする	室温調節をするための電磁弁（電気で開閉するガス弁）リレーなどの動作音です。
暖房時	お部屋が乾燥する	お部屋の温度が上がると相対湿度が下がるためです。市販の加湿器などで加湿してください。
暖房時	点火後や消火後にキシミ音がでる	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮しておこる音で、故障ではありません。
暖房時	運転してもすぐに温風が出てこない	約20秒ほどして機器内部が暖まると、自動的に温風が出はじめます。(冷風を出さない処置です。)
暖房時	停止してもすぐに温風ファンが停止しない	約1.5分ほど機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
冷房時	水の流れるような音がする	冷房に使用する液(冷媒)が流れる音です。
冷房時	上部吹出口から霧が出ているように見える	低温多湿時に見られる現象で、お部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
冷房時	においが出る	空気中に含まれたたばこの煙、化粧品、食品などのにおいが機器に付着し、それが吹き出すためです。

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

ご注意 不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客様ご自身で修理なさらないでください。

寸法図

室内ユニット

（単位：mm）

室外ユニット

保管とアフターサービス

サービスのお申し込み

●27～28ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品　名………FFタイプガスルームエアコン
(2)品　番………左側面に貼付してあります。

（例）

(N)44-343(U)
大阪ガス株式会社 09

(3)現　象………（できるだけ詳しく）

転居される場合

●ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

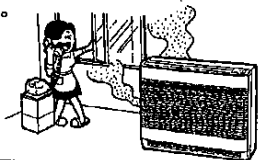
保証について

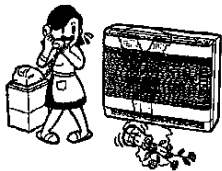
●この器具には保証書がついています。
このガスルームエアコンは保証書の記載のように器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

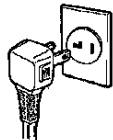
おねがい

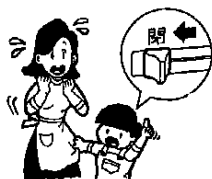
ガスもれに気付いたとき

●ガス元せんを閉じ、窓や戸を開けて、ガスを外へ出してから、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

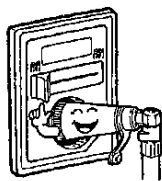
●絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

水をこぼしたとき

●万一室内ユニットに水をこぼして内部をぬらした場合は、運転を停止し電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご相談ください。
ぬれたまま運転すると、漏電、火災などの原因となることがあります。

冷房時

●電源プラグが熱くなったり、ヒューズやブレーカーがたびたび切れるときや、緊急の場合は、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

異常を感じたとき

●あわてずに運転／停止ボタンを押して「切」にし、部屋のガス元せんを閉めてじゅうぶんな点検をお願いします。
（「故障かな？と思ったら」については、27～28ページをお読みください。）

長期間ご使用しないとき

●長期不在、暖房シーズンオフなどの場合は、必ずガス元せんを閉めてください。

仕様

項目			
品名		ガスルームエアコン	
品番		44-343型（室内ユニット）	04-343型（室外ユニット）
型式名		GHC-4031	
外形寸法		高さ620mm×幅795mm×奥行265mm	
暖房方式		強制対流方式	
給排気方式		密閉式（強制給排気方式）	
点火方式		連続放電点火方式	
ガス消費量		13A	LPG
		0.46m³/h（4,800kcal/h）	0.36kg/h
暖房能力		4,000kcal/h	3,550kcal/h
暖房のめやす	一般・木造	18m²（11畳まで）	
	鉄筋・集合 断熱施工の木造	28m²（17畳まで）	
冷房能力		3.2KW	
冷房のめやす	一般・木造	15m²（9畳まで）	
	鉄筋・集合 断熱施工の木造	22m²（13畳まで）	
重量（本体）		31kg	
消費電力		暖房時：51W　冷房時：1,185W	
接続	ガス	スリムプラグ	
	電気	AC 100V　50/60Hz	
	冷媒管	フレア接続（液管φ6.35　ガス管φ12.7）	
バランストップ		壁貫通部穴径：80mm	
冷媒配管		壁貫通部穴径：65～80mm	
電源コード長さ		2m	
安全装置		立消安全装置（フレームロッド式）、過熱防止装置 過電流保護装置、停電安全装置	